

# 図書館だより

2000.10.25

第22巻2号

通巻154号

Bulletin of the Hokkai Gakuen University Library

## 花袋が告げた『ひと夏の回想』

遠くの教室から  
クラリネットの音やピアノの音がする。  
秋。それも明治31年の。  
一人、図書室で瞑想する詩人にして  
東京音楽学校の学生がいた。  
彼こそ若き日の  
といつても、26歳の  
島崎藤村その人だった。  
庭には、夏の花である、ムクゲが  
咲いていた。  
色は、紫、紅、白、桃色と  
あたかもコスモスの花のようだった。  
青春が花ならば…  
藤村にとって、それは晩夏をつげる  
花のようにも見えた。  
この夏、藤村は義父の実家がある  
木曾福島に帰省した。  
その折、藤村を訪ねたのは  
親友の田山花袋であった。  
「海辺にね、椰子の実が浮いていたんだ」。  
この話は、藤村にとっては驚きであった。  
山育ちの藤村は、強く「海」を意識した。  
『名も知らぬ 遠き島より…  
彼は机の上でペンをすべらせた。  
それはみるみる出来上がったのである。

書彩声彩 童、夢みし  
—「早春賦」とその時代②

名も知らぬ遠き島より

『尋常小学校唱歌(大2・5)』

ヘ松原遠く消ゆるところ  
白帆の影は浮ぶ。  
千網浜に高くして  
鷗は低く波に飛ぶ。  
見よ昼の海。  
見よ昼の海。

図書室に  
クラリネットの音  
ピアノの音が響く  
人瞑想する若き詩人

- p.1. 書彩声彩 童、夢みし—「早春賦」とその時代② ■ p.2-5. 利用案内—情報検索ガイド  
■ p.6-7. 書彩声彩(続) ■ p.8. SUMMER 2000 なごりの記

# 検索ガイド

## 蔵書検索コーナー利用上の留意点

- OPAC (Online Public Access Catalogue : オンライン目録検索システム) コーナーの5席は、自由に着席して蔵書検索を行うことができます。  
なお、混み合っている時は、譲り合って利用してください。
- 蔵書検索の出来る対象図書（平成12年9月末日現在）：
  - ① 本学蔵書の内、和図書約10万冊の入力済み図書について蔵書検索が出来ます。  
なお、現在もデータ入力を増やすべく努力中でありますので、目録カードと併用で検索してください。

### ※ 検索可能な図書データ

開架	冊数(約)
2F	22,000
3F	56,000
工学部分室	20,000

- ② 開架図書の内、最近利用された図書については検索できます。
- ③ 平成11年4月以降、受入の図書について全て検索できます。
- ④ まだ、入力されていない蔵書については、目録カードで検索してください。

## 蔵書検索を行う前の留意点！

- 機能設定は変えないでください。(無用な操作を行わないでください。)
- 使用後は、ディスクやモニターの電源を切ったり、Windowsを終了させたりしないでください。
- プリンター未設置につき、検索結果の記録は、筆記でお願いします。
- 持込み CD-ROM 及び、フロッピィ・ディスクによるデータの読み書きは出来ません。
- 操作方法及び調整不良などがある時は、レファレンス・カウンターか閲覧カウンターに申し出てください。

# できる HGUL 蔵書検索

## HGUL 蔵書検索へようこそ

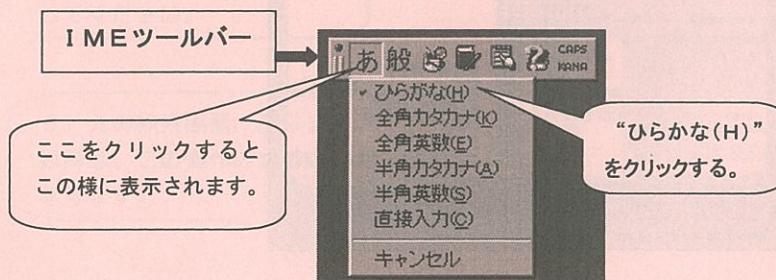
### 初期画面



### 入力準備 《日本語/英数字の入力方法》

画面右下にこのようなアイコンがあります。

※ 入力モードの設定は常にローマ字入力モードに設定してあります。



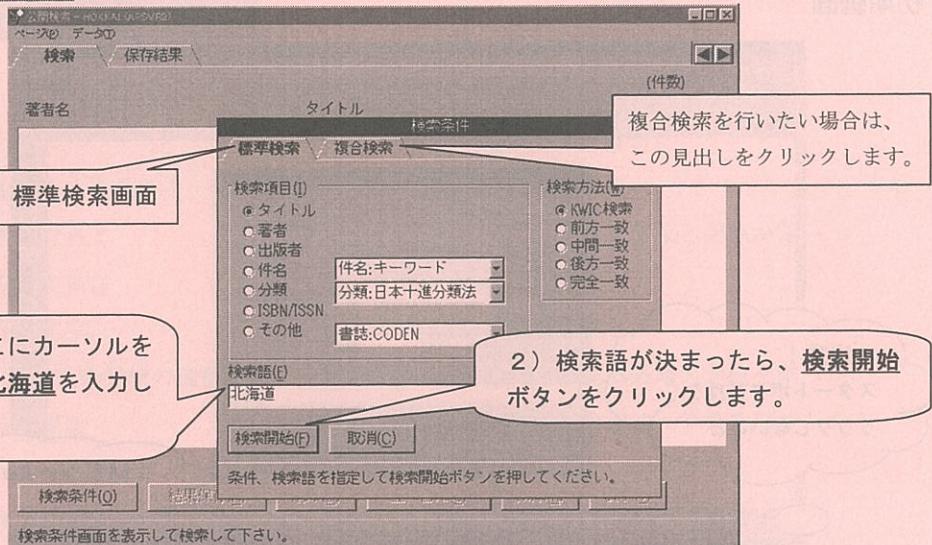
検索の準備が出来ましたか？

### 検索の特徴

1. 検索方法は、標準検索と複合（応用）検索の2通りがあります。
2. KWIC検索は、標準検索で行える検索で、スピードが速く、検索語以外の近似語も参照出来るようになっています。

### 標準検索

初期画面は、標準検索の画面が表示されています。

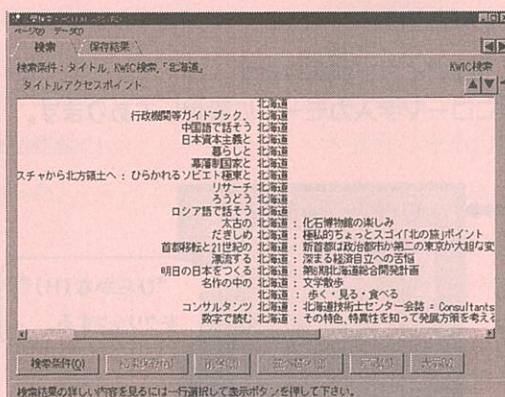


[検索のヒント] 検索項目・検索方法を選び、検索語を入力して検索開始ボタンをクリックします。

KWIC検索では単語の語尾がうろ覚えでも検索することができます。

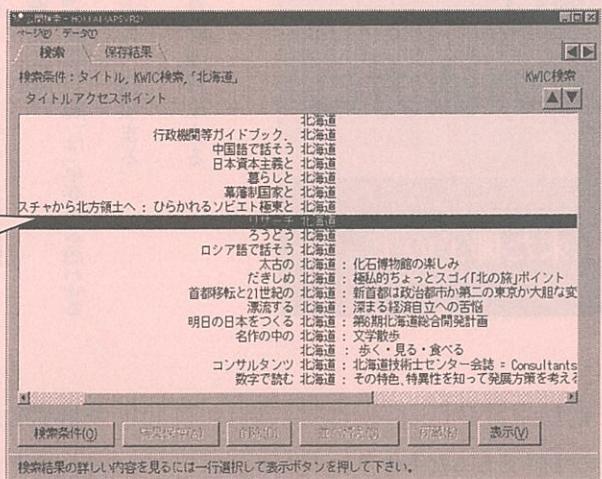
長い単語でなくても、短く確実な単語部分を入力した方がヒット率は高まります。

### 検索結果

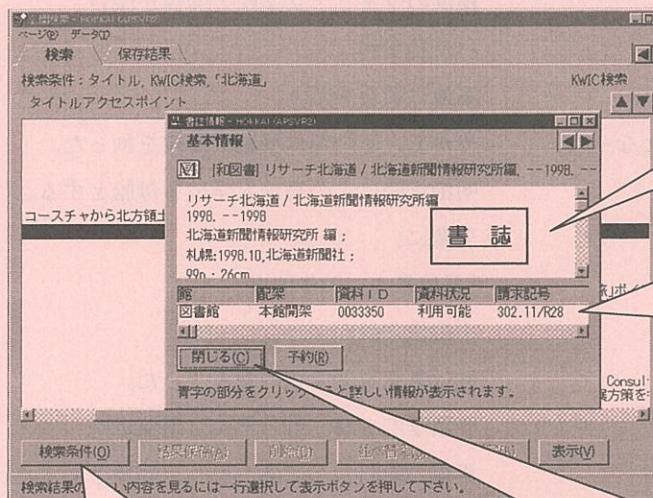


詳細な資料が見つかりましたら、表示個所にカーソルを置きダブルクリックしてください。

1) ここにカーソルを置き、リサーチ北海道をダブルクリックしました。



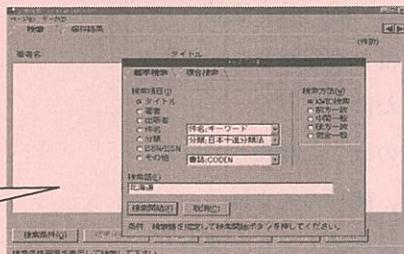
2) このように書誌と所蔵情報が表示されます。



**所蔵情報**  
館 図書館  
配架 本館開架  
利用状況 利用可能  
請求記号 302.11/R28  
(この図書は、2階の開架書架にあります。)

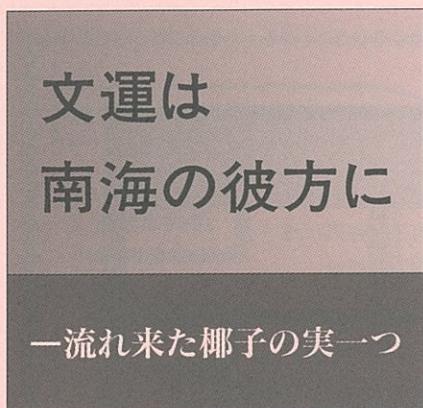
4) 別の検索を行う場合は、検索条件ボタンをクリックしてください。

3) 検索が終了したら閉じるボタンをクリックしてください。



5) 元の検索画面に戻ります。以降は、この操作の繰り返しになります。

※ プリンターの設置はしていません。検索結果の記録は、筆記でお願いします。



明5 1872	明6 1873	明30 1897	明31 1898	明32 1899	明33 1900	明39 1906
島崎藤村生まる	吉丸一昌生まる	藤村(25) 『若菜集』の「春」は「早春賦」を想わせる	9月 花袋、藤村を 帰省先の木曾福島に訪問	東京音楽学校選科生となる いす」は「早春賦」を想わせる	小諸義塾の教師となる 藤村(26)『一葉舟』の「うぐ	藤村(27)『夏草』 この中に「椰子の実」「千曲川旅情の歌」 藤村(28)『落梅集』 この年漱石、東大を去る 藤村(34)『破戒』発表

藤村がなぜ？

音楽学校の学生であったのか？

明治学院を卒業したあと

仙台の教師となった彼は

まもなく、辞して上京、

明治31年4月東京音楽学校の選科生となった。

本科生とは違う簡単な

試験でよかった。

当時の東京音楽学校は、

時局の推移と共に、

予算の削減にあい、

やむなく、師範学校の付属の地位

に甘んじていた。

同じ長野県出の巨人、

あの東京音楽学校の創立にかかわった

伊沢修二是、この時、独立運動の

ために心労を惜しまなかった。

初代校長だった彼も

上層部と口論のはてに辞職していた。

そのような時、藤村の入学は

すでに新進気鋭の詩人として著名

だっただけに、沈滞した東京音楽学校の

意気を十分に高めたであろう。

明治学院を出た藤村。

それはまぎれもない、ミッションスクールだった。

横浜のフェリス女学院と関係が深い

バラ神父が

築地に教会を開き、

やがて、その地に築地大学校を創った。

明治学院はこの築地大学校を母胎とする。

先輩に、

「夏は来ぬ」の作曲者、

小山作之助がいた。

彼は東京音楽学校の教授だった。

明治学院では、もちろん、讃美歌が

正規の教科としてあったし、唱歌もあった。

藤村にとって音楽は

「海の音をなつかしむ」ように自然なものだった。

伊沢修二や小山作之助といった先輩に

心引かれたこともあったろう。

選科生として、ピアノをかたわらに弾く以外、

ほとんどは図書室で過ごすことが多かった。

シューマンの「音楽と音楽家たち」のような

本を借りては終日、読みくらす毎日だった。

漠然とした日々。その中で親友の

花袋が告げた「椰子の実」は彼に一つの

大いなる啓示を与えたことだろう。

明41 1908	明44 1911	大2 1913	大5 1916	大14 1925
吉丸一昌 (35) 東京音楽学校教授となる 編纂委員会の一員に吉丸。	6月 「尋常小学唱歌」 発表	藤村(41) 「尋常小学唱歌」 この中に「海」(作者不詳) この年、吉丸一昌(40)「早春」 賦「発表	藤村(44) 「千曲川旅情の歌」 吉丸一昌没(43) 漱石没(49)	弘田龍太郎 藤村の詩「千曲川旅情の歌」 に作曲

「名も知らぬ」と  
「春は名のみ」と

藤村の詩情が  
共鳴する一昌の詩情

藤村は、やがて、翌明治32年、意を決したかのように東京音楽学校を去り、小諸義塾の教師となって旅立った。この間、矢継ぎばやに明治31年の夏を回想した「夏草」「一葉舟」そして「落梅集」を発表。その中に、「千曲川旅情の歌」「椰子の実」があった。吉丸一昌は当然、この時、この詩を眼にしたろう。藤村はやがて明治37年、「破戒」を発表。しかしもなく、妻と死別。姪とのスキャンダルもあって、海に出て、パリへ旅立つ。漱石がロンドンから船で帰国したように、彼も又、船の航海を体験した。漱石が「維新の志士」の情を抱いたように藤村も又「雄々しく」帰国した。のちの彼の作品は「童心」に帰って行く。弘田龍太郎は藤村の「千曲川旅情の歌」を作曲したし、藤村は「赤い鳥」童謡運動にかかわる。吉丸一昌は「海」(「松原遠く…」)を作詞したと思われるは「椰子の実」からの連想であったと思われるからだ。

「名も知らぬ、遠き島より…」  
この出だしは、どこか  
「春は名のみの風の寒さよ…」  
と似ている。  
前者は藤村の「椰子の実」。  
後者は吉丸一昌の「早春賦」。  
この時、一体、わが吉丸一昌は、どこで何をしていたのか。  
年齢的には藤村より1歳年下の吉丸一昌は、この時、25歳だったろう。  
彼は花袋と同年輩だった。  
互いには面識はなかった。  
しかし、後に、藤村の詩を読む機会はあったはずだ。  
国文学者となる前の吉丸は東京帝国大学の芳賀矢一教授の下で学んだのち、街の小学校の教員となった。  
それは、彼が、やがて、東京音楽学校の教授となる。  
35歳まではまだ10年早かった。  
藤村がパリから帰国した大正4年、吉丸一昌は没した。漱石も又。

## 五輪去つて新たな騒乱、そしてあの「注射器」のミステリー

熱狂の世紀末ショー、  
シドニーオリンピックは終った。  
そのとたんに  
イスラエルとパレスチナの騒乱。  
アトランタ五輪のときもそうだった。  
クリントン氏はイラクに爆撃を加えた。  
平和は五輪の間のつかの間。  
他方で、  
ユーゴの「独裁者」はようやく  
去った。  
スターリンの亡靈が東欧諸国から姿を消し、  
ルーマニアのチャウシエスク体制  
が崩壊して、10年。  
ようやく、ユーゴの独裁体制の  
終えんを見た。  
それにしても、ユーゴ問題の中  
にあるイスラム問題は、

今や世界、この地球上の問題に  
なりつつあるのはなぜか。  
ハーバード大学のハンティントン教授  
の言う「新たなる戦争」とは、イスラムを軸とした、民族=宗教の対立であるという。  
(『文明の衝突』集英社)  
教授の予見は立証されつつある。  
スーダンの「食糧援助作戦」は  
まさしく、イスラムと部族との対立  
からくる内戦だ。  
イスラムとキリスト教、  
イスラムとユダヤ教、  
この世に平和をとく宗教は  
決して隣人を愛することはない。  
それにしても、あのロシアの女性が持った  
「注射器」はこの夏の怪として記憶される。

## 図書館の動静

電算稼働、早や1年……	道補助金（図書）の減額
思えば去年。 1999年10月17日。 図書館業務が電算稼働により、大幅な変貌を遂げた日である。 従来の会計→図書の分類という流れから、部門別処理への転換。つまり「研究図書処理」と「経常図書処理」への転換だった。 なれない業務へのとまどいにもかかわらず独自に編み出した「会計処理コード」の創出によって、果然と業務を遂行出来たのは幸いだった。 窓口業務でも11月1日をもって、貸出一返本システムがスタートした。利用者が待望していたものだった。	列島はまだ不況にあえぐ。 大企業も地方自治体も。 借金本質の故である。 道も又、その例外ではない。 3兆円の予算規模に、3兆円の負債。これは名目で、元利合計では6兆円の巨額となる。 その結果として 私大への図書費補助が減額を見た。 1学部当たり320万円が200万円に。 3学部で合計120万円×3=360万円の減。 2001年度はさらに1学部140万円に削減される由。合計すると520万円減 本を存分に買った時代は終わるのか？